

第5学年 学級活動（情報モラル）学習指導案

1. 学 年 5年

2. 本時の学習

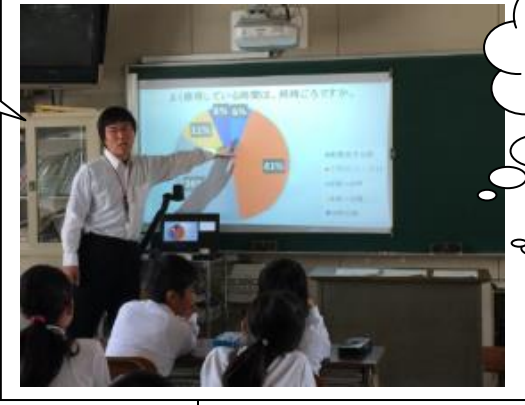
(1) 目 標

- スマホに振り回されてしまう原因やその対策について話し合い、スマホとのよりよい関わり方について考えることができるようにする。

(2) 使用した映像教材

「やめたいけどやめられない」（ネット社会の歩き方）

(3) 展 開

	主な学習活動	指導上の留意点 (T 1・・・担任、T 2・・・養護教諭)	評価
導 入	<ul style="list-style-type: none"> ○ スマホの1日の利用状況について振り返る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 一日に何時間使っているか。 ・ スマホを何時ごろに使うのか。 ・ 何に使っているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 現在のスマホとの関わり方について、学級のアンケート結果をもとに振り返るようにする。 (T 1) 	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">この結果を見て気がついたことはありますか。</div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">1日4時間以上使っている子がいるよ。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">使いすぎと思う。</div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 課題をつかむ。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題をつかむことができたか。
	スマホとのよりよい関わり方について考えよう。		

展
開

○ 映像教材「やめたいけどやめられない」（ネット社会の歩き方）を視聴する。

アヤカさんの事例をもとに考えましょう。



● 児童の表情やつぶやきに注視する。(T1・T2)

アヤカさん、つかいすぎ！
疲れると思う…

○ アヤカさんの状況や状態について具体例を挙げる。



● アヤカさんの状況や状態についてワークシートにまとめるようにする。(T1)

・アヤカさんの状況や状態についてまとめることができたか。

スマホを気にしすぎてるなあ。

○ 全体でアヤカさんの状況や状態について話し合う。

運動をしていません。

勉強が手につかないようです。

寝不足で疲れています。



● 参観している保護者の方にもアヤカさんの状況や状態について考えを聞く。(T1)

おうちの方は、どう思われますか。

メールがこないといらいらしています。

生活のリズムがくずれています。

- スマホを手放せなくなっている状況や状態が健康に及ぼす影響について養護教諭の話聞く。

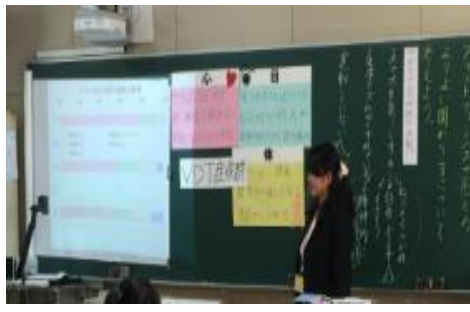
スマホを手放せなくなっている状態が続いたら、どうなるのかな。保健室の先生に聞いてみましょう。



- 養護教諭から、スマホ依存が健康に及ぼす影響についての話を聞き、自分の生活をふり返るようにする。(T2)

- 眼の症状
- 体の症状
- 心の症状

- スマホに振り回されると、どのような影響があるかを考えることができたか。



展

- アヤカさんのようにスマホに振り回されないようにするにはどうすればよいか考え、話し合う。

アヤカさんは、VDT症候群（保健便り参照）になっている可能性がありますね。



- スマホに振り回されないようにするにはどうすればよいかをグループで話し合い、ワークシートにまとめるようにする。(T1)

- 机間指導しながら、児童のつぶやきに耳を傾ける。(T1・T2)

- スマホに振り回されないための対策について考えることができたか。

開

- グループで話し合ったことを発表する。

- 保護者の方にも話し合いに参加してもらうようにする。(T1・T2)



使う時間を決めたらいいと思います。

夜は、何時までと決めたらいいと思います。



本当にみんなは、今決めたルールを守れますか。

手放せなくなったら、家の人に預けたらいいと思います。

ま と め	<p>○ 養護教諭から、VDT症候群の予防策について話を聞く。</p>  <p>○ 学習したことを振り返って感想を書き、交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 眼、体、心の症状の予防策について知らせる。(T2) ● 日常のコミュニケーションを大切にして、友達と仲良く過ごすために、スマホと上手に付き合うように助言する。(T1) <p>友達がどんどんメールを送ってきたら、どうするのかな。</p>	<p>・本時の学習を振り返り、実生活に生かそうとしているか。</p>
	<p>友達のメールをほったらかしにしたら、嫌われる。…</p> <p>いじめにつながるかも…</p>  <p>スマホの使い方について、これからも一緒に考えていきましょう。</p>		

【板書】

スマホのよりよい関わり方について
考えよう。

アヤカさんの状況や状態

食事中もスマホ
ふとんの中でもスマホ
いつも近くにスマホ
電波が入らないとイライラ
メールが来なくてイライラ
何も頭に入らない
生活のバランスをくずしている

←

スマホを手放せなくなっている！

スマホを手放せなくなると…

スマホに振り回されないようにするには
どうすればよいか。

- ★ スマホに関する児童の実態を調査して、授業の導入に活用する。
- ★ 児童が、事例をもとにスマホを手放せなくなっている状況や状態における問題点や対応策について考える。
- ★ 「保健室からのお話」という別の視点から、養護教諭の話を聞く機会を設ける。授業後、保健便りを配付し、家庭への啓発も行う。
- ★ 参観の授業として行うことにより、保護者にもスマホと子どもとのよりよい付き合い方について考える機会にしたい。

【ワークシート】

(感想)

◇ スマホの使い回しを減らすために工夫を凝らすことについて考えてみよう。

◇ ママさんの状況を把握して適切な対策を講じてあげよう。

(5年組)

【保健便り】

平成 27 年 11 月 16 日

パソコンやタブレット、スマートフォンなどの
ICT機器と上手に付き合おう

～保健室からみなさんへ知ってもらいたいこと～

☆みなさんは、学校でもICT機器を使っていたり、家でも使う機会がよくある
と思います。ICT機器を使うことで、みなさんの視力の結果にどのような影
響が出てくるのでしょうか？1学期に行った視力検査の結果をみてみましょう。

◆ 視力検査の結果 (27年度) ◆

★VDT症候群について

パソコンなどの表示機器を使用した作業を長時間続けたことで、目や体、心に
影響のでる病気のこと。

(主な症状)

目の症状	体の症状	心の症状
視力低下、ぼやける	肩がこる、頭が痛くなる	怒りっぽくなる、
まぶたがびくびくする	腕が痛くなる、腰が痛くな	イライラする、
目の痛み、充血	る、背中が痛くなる	悪い夢をみる、なかなか眠
乾燥する(ドライアイ)	手足がしびれる	れない、不安になる、 めまい など

◆ ICT機器と上手に付き合うために日ごろから気を付けてほしいこと

- ① 正しい姿勢で見るようにしましょう。
- ② 1日1時間以内にし、10～15分休憩をとりましょう。
- ③ 意識してまばたきをするようにしましょう。

運動・栄養・休養を心掛けることが大切です